

○ 體は綠色。額の縦溝は頭頂に達す。後翅は暗褐三條の橙黄帶あり
(18×58 mm.) ヲシアキニイニイ *H. uehiyamae* Mats. (第四圖版(3))

四 クサ蟬族 (*Mogannaria*) に屬するもの本領土に一屬あり。

前頭は圓錐形をなして前方に突出し背瓣の前端は三角形をなす。

○ クサゼミ屬 (*Mogannia*) の検索表。

Ⅰ. 前翅透明なれども基部にて黄色を帯ぶるものあり。

A. 頭は複眼間の幅よりも長し。體は黒藍色。翅透明脈に沿ひ暗色條あり
(13×33 mm.) エメルリクサゼミ *M. bella* Kato

Ⅱ. 頭は複眼間の幅と約同長。

a. 體は黄緑。中胸背の四縦紋は黒褐 (16×39 mm.)

b. 體は黒褐。腹部に黄褐紋を縦列す。 クサゼミ *M. hebes* Wlk. (第三圖版(8))

b. 中胸背は黄褐黒褐紋を有す。前翅の基半部は鼈甲色 (17×40 mm.)

..... キイロクサゼミ *M. basalis* Mats. (第三圖版(9))

(Syn. *Havocapitata* Kato)

b. 中胸背は黒褐。又隆起前に黄褐の大紋あり。前翅の内側は黒色
(14×39 mm.)

..... セスデクサゼミ *M. ritozana* var. *dorsovitta* Mats. (第四圖版(5))

c. 體黄褐。中胸背に判然せざる褐色の二縦條あり (13×34 mm.)

..... トビイロクサゼミ *M. flavescens* Kato

d. 體黒色。中胸背に斑紋を缺く。前翅脈の基半部は綠色 (14×30 mm.)

..... イハサキクサゼミ *M. iwasakii* Mats. (第三圖版(9))

e. 體黒藍色。腹部の兩側は黄褐。前翅脈の基半部は黄緑 (12×28 mm.)

..... ヒメクサゼミ *M. minuta* Mats.

Ⅱ. 前翅の基半部不透明。

A. 頭長は複眼間の幅と約同長。

- a. 體上黒色、體下黄褐。前翅の前縁は紅色。
- a.' 前頭及び前胸背の縦條は黄褐 (17×39 mm.)
-キアミタサゼニ M. pallipes Mats.
- a." 前頭及び前胸背は黒色、斑紋なし (14×35 mm.)
-マヘアカクサゼニ M. rubricosta Mats. (Syn. fasciata Kato)
- b. 體の上下黒色。前翅の前縁は紅色を呈せず。
- b.' 中胸背に三角形の緑紋を有せず。
- 1. 前翅の中央に鋸齒状の黒帯あり (17×40 mm.)
-ネグロクサゼニ M. formosana Mats. (第三圖版(4)↑)
- 2. 前翅の中央帯は判然せず (15×37 mm.)
-ヒメオビクサゼニ M. fuscomaculata Kato
- b." 中胸背に三角形の緑紋を有す (♂ 14×34 mm.)
-アオモンクサゼニ M. delta Kato
- e. 體黒藍色。前翅の底室、各肘室の基部及び前縁は橙黄色 (17×36 mm.)

B. 頭長は複眼間の幅よりも明瞭に長し。

- a. 體は黒藍色。斑紋を缺く。
- a.' 前翅の基半部は橙黄色、其の外側に黒帯あり (15×37 mm.)
-ルリクサゼニ M. cyanea Wk. (第三圖版(5)↑)
- a." 前翅の基半部黒色。翅底に橙紅色の部分あり。
-ハグロルリクサゼニ M. nigrocyanea Mats. (第三圖版(7)↑)
- b. 體は黒褐、黄褐紋を装ふ。前翅の基半部は黄色 (♂ 14×38 mm.)
-リトウクサゼニ M. ritozana Mats. (第四圖版(9)↑)
- c. 體は綠黄、前胸背の二紋及び中胸背の四縦紋は黒褐。翅透明、基半部暗色 (17.5×38 mm.)
-カノウクサゼニ M. kanoi Kato

第三、羽黒蟬亞科 (Tibiceninae) の檢索表

I. 前翅不透明……………ハグロ蟬族 *Huechysaria*
 II. 前翅透明……………

A. 前額は前頭縁よりも前方に突出す。腹背は多少船底状に隆起す。
 ………………チツチ蟬族 *Melampsaltria*
 B. 前額は前頭縁よりも前方に突出せず。腹背は蒲鉾状に隆起す。
 ………………ハラウ蟬族 *Parasemiaria*

一、ハグロ蟬族 (*Huechysaria*) の検索表。

A. 顔面に縦溝を有す……………ハグロゼミ属 *Huechys* A. et S.
 B. 顔面に縦溝を有せず……………アシアカハグロゼミ属 *Scieroptera* Stål
 ○ハグロゼミ属 (*Huechys*)—に属するもの臺灣に一種あり。
 體は黒色。額、中胸背の二大紋並に腹部は紅色 (24×58 mm.)

○アシアカハグロゼミ属 (*Scieroptera*)—に属するもの臺灣に一種あり。
 ………………ハグロゼミ *H. sanguinea* Deg. (第三圖版 10) (♂)

體は黒色。前翅の前縁、前胸背の中央にある縦條、側縁、後縁並に中胸背の中央にある縦條は黄色。脚及び腹部は紅色 (20×53 mm.)
 ………………アシアカハグロゼミ *S. formosana* Schmidt (第三圖版 11) (♂)

二、チツチ蟬族の検索表。

I. 前胸背の側縁擴がらず……………キイロチツチゼミ属 *Melampsalta* Kolen.
 II. 前胸背の側縁擴がる。

A. 頭幅は中胸背の基部よりも狭し。
 a. 腹背は龍骨状に隆起し、生殖板は終腹節の約一倍半長し。腹瓣の後縁は稍々端直……………イチノサハチツチゼミ属 *Takapsalta* Mats.
 b. 腹背は龍骨状に隆起せず。生殖板は終腹節よりも短。腹瓣の後縁は弓状に膨起す……………カラフトチツチゼミ属 *Karapsalta* Mats.

B. 頭幅は中胸背の基部と約同幅……………チツチゼミ属 *Kosemia* Mats.
 ○キイロチツチゼミ属 (*Melampsalta*)—に属するもの朝鮮に一種あり

○ 體は綠黄。頭前胸背、腹背の斑紋及び腿節の條紋は黑色 (15 × 37 mm.)

○ イチノサハチツチゼミ屬 (Tukapsakta) — に屬するもの樺太に一種あり。

體は黑色、斑紋を缺く。翅脈は黑色、前緣脈、亞前緣室の縱條、各腹節の後緣並に脚の大部は赤褐 (21 × 52 mm.)

○ カラフトチツチゼミ屬 (Karapsakta) — に屬するもの樺太に一種あり。

體は黑色。前胸背の中央にある二小紋、中胸背の二紋、觸角基部の一紋、顔の兩側腹面の大部等は黄褐。翅脈は黑色、基半部の脈は黄褐にして、之れに暗色の斑紋あり (23 × 60 mm.) …カラフトチツチゼミ *K. sachalinensis* Mats. (第四圖版(2) (♀))

○ チツチゼミ屬 (Kosenia) — の檢索表。

- I. 顔は周圍を除き黑色。前翅の肘脈は底室に開口するか若くは徑脈の基點より出づ (20 × 57 mm.) …… チツチゼミ *K. radiator* Uhl. (第二圖版(10) (♂))
- II. 顔は黄褐、中央の縱條及び横紋列は黑色。前翅の肘脈は徑脈と分支す。

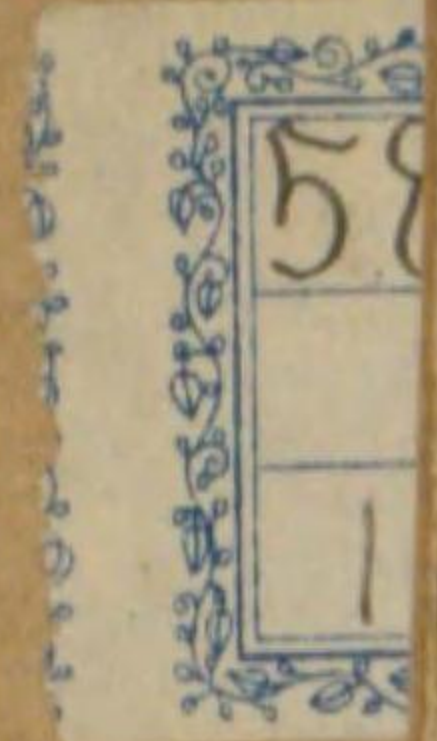
…………… エゾチツチゼミ *K. yezoensis* Mats.

三. パラウ蟬族 (Parasemaria) に屬するもの南洋パラウ島に一屬一種あり。

○ パラウ蟬屬 (Parasemia) — 前胸背の側緣は少しく突出し、頭幅は中胸背の基部と約同幅。腹瓣は斜傾し、末端は圓味を帯ぶ。前翅の肘脈は徑脈と分支す。體は綠色。斑紋を缺き、體下及び脚は黄綠。口吻の末端及び前腿節の齒端は黒褐 (22 × 54 mm.) …… パラウゼミ *P. uehlyanae* Mats.

○ クロイハゼミ屬 (Nalasemia) — 前額は三角形をなして突出し、頭幅は中胸背の基部よりも狭く、前胸背の後緣よりも遙に廣し。腹背は龍骨狀に隆起す。雌の産卵管は長く、終腹部よりも長し。翅脈は常形、肘脈は底室に開口す。之に屬するもの沖繩に一種あり。黄綠にして斑紋を缺き、翅は透明にして、少しく黄色を帯び、脈は綠色。前腿節の齒及び爪の末端は黒褐 (20 × 54 mm.)

…………… クロイハゼミ *N. kuroiwae* Mats. (第三圖版(3) (♀))



附言 — 未だ雄の捕獲せられざれば族の所屬判然せず。尙オガサハラツクツク
 とオガサハラゼミと同種ならんと思はるゝも、未だタイプを見ざればその儘
 となし置きたり。又ホツボヒグラシとタケサキヒグラシと同種なることを
 印刷後に至り知りたれば爰に訂正す。

面白き蟲界の教材終



昭和三年十月十日
 昭和三年十月五日
 日印
 發行

面白き蟲界の教材奥附
定價金參圓五拾錢

著者 松村 松年
 發行者 東京市神田區表神保町三番地
 株式會社東京堂代表者
 大野 孫平
 印刷者 東京市牛込區山吹町一九八番地
 田中 末吉

(刷印社想理)

發行所

東京市神田區表神保町三番地

株式會社

東京堂
振替東京二七〇番

58
1

北海道帝大教授
農學博士
松村 松年著

松村 松年著

本書の姉妹篇

蟲界の驚異

菊判函入洋布美裝
口繪挿畫八十餘個
定價參圓五拾錢
送料十圓八錢

蟲界の驚異！ 彼等の驚異的活動が

如何に人間生活を諷刺せるか？

凡そ自然界にあつて、蟲の生活程驚嘆すべきものはない。其戀愛生活と云ひ、其母性愛と云ひ、其社會生活と云ひ、或は、威赫、詐欺、犠牲、掠奪、戰爭等の行爲は、宛も人間生活を諷刺し暗示してゐるが如くである。本書は昆虫學界に於て既に世界的權威たる松村博士が、その蘊蓄を傾けて虫界の奇怪な本能、不思議な習性等を、極めて興味深く講述されたものである。挿畫は虫界の驚異的現象を、面白く印象的に、且つ實際的に示す爲めに印刷して數十圖收めてある。學校・家庭を始め廣く一般讀書界に敢て本書を推薦する。

◇茗溪會讀物調查會本書を推薦して曰く

昆虫學者として第一人者である著者が、蟲界の面白き機微なる所を總括して書いたのが本書である。奇怪な本能や、不思議な習性等幾多の驚異すべき現象は、明快な文章と挿畫の豊富と相俟つて、興味津々たる中に人間生活に大なる諷刺を與へるものがある。斯界の研究者は勿論、一般に是非御すゝめしたい。

〔次目容内〕

- 一 緒言
- 二 蟲界の犯罪
- 三 蟲界の本能と母性愛
- 四 蟲界の武裝
- 五 蟲界の自衛
- 六 體色の意義
- 七 分泌の目的
- 八 五官の活動
- 九 蟲の趨性
- 一〇 冬眠と其意義
- 一一 冬活動する昆蟲
- 一二 蠅と傳染病
- 一三 蟲は何故火に飛び込むか
- 一四 面白き蟻の種類
- 一五 蟻の戰鬥と奴隸
- 一六 蟻の共産社會
- 一七 白蟻の社會
- 一八 蜜蜂の社會
- 一九 嗜肉蜂の造巢
- 二〇 拜神のカマキリ
- 二一 蟲界の放送
- 二二 蟲界の戀愛生活

58
1

◆東京堂新刊重版書◆

三井甲之著	早大教授 西村眞次著	女大教授 河野清丸著	文學博士 金子筑水著	文學博士 金子筑水著	文學博士 金子筑水著	本間久雄著	本間久雄著
明治天皇御集研究	萬葉集の文化史的研究	兒童教育學概論	藝術の本質	現代哲學概論	歐洲思想大觀	生活の藝術化	文學概論
(再版)	(再版)	(再版)	(七版)	(十八版)	(十八版)	(四版)	(十八版)
送料價 二・八〇	送料價 三・二〇 一八〇	送料價 二・五〇 一八〇	送料價 二・八〇 一八〇	送料價 二・八〇 一八〇	送料價 二・八〇 一八〇	送料價 一・八〇 一八〇	送料價 三・二〇 一八〇

588
16

